

船橋市教育委員会会議 1月定例会会議録

1. 日 時 平成23年1月20日(木)  
開 会 午後4時00分  
閉 会 午後5時00分

2. 場 所 教育委員室

3. 出席委員	委 員 長	石 坂 展 代
	委員長職務代理者	中 原 美 恵
	委 員	篠 田 好 造
	委 員	山 本 雅 章
	教 育 長	石 毛 成 昌

4. 出席職員	教育次長	西 崎 勝 則
	管理部長	石 井 雅 雄
	学校教育部長	阿 部 裕
	生涯学習部長	須 藤 元 夫
	管理部参事兼総務課長	二 通 健 司
	学校教育部参事兼 総合教育センター所長	魚 地 道 雄
	財務課長	泉 對 弘 志
	施設課長	千々和 祐 司
	学務課長	松 田 重 人
	指導課長	加 藤 邦 泰
	保健体育課長	水 野 平 吾
	社会教育課長	小 川 佳 之
	文化課長	武 藤 三 恵 子
	青少年課長	村 山 茂
	生涯スポーツ課長	小 泉 秀 俊
	飛ノ台史跡公園博物館長	江 口 勇 一
	郷土資料館長	鬼 原 裕

5. 議 題

第1 前回会議録の承認

第2 臨時代理

報告第1号 職員の任免について

第3 報告事項

(1) 第41回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会の結果報告について

(2) 「子どもたちの色・形・夢 2011」

平成22年度船橋市小・中・特別支援学校造形作品展について

(3) 平成22年度船橋市学校給食展の開催について

(4) 平成23年船橋市成人式の実施報告について

(5) 第25回ふなばし生涯学習フェアについて

(6) 第二次船橋市生涯学習基本構想・推進計画(第二次ふなばし一番星プラン)策定について

- ( 7 ) 第 1 5 回ふなばし音楽フェスティバルについて
- ( 8 ) 平成 2 2 年度船橋市文学賞の結果報告について
- ( 9 ) 第 5 5 回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会の実施報告について
- ( 1 0 ) 第 2 9 回 船橋市小学生・女子駅伝競走大会について
- ( 1 1 ) 船橋市郷土資料館の地域史講座 印旛沼治水事業と開発計画について
- ( 1 2 ) 平成 2 2 年度 船橋市飛ノ台史跡公園博物館開館 1 0 周年記念企画展  
第 2 部 ふなばしのお宝展について
- ( 1 3 ) その他

## 6 . 議事の内容

### 【委員長】

皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいいたします。

では、ただいまから教育委員会会議 1 月定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認についてお諮りします。

1 2 月 2 2 日に開催いたしました教育委員会会議 1 2 月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございますが、よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんか。

### 【各委員】

異議なし。

### 【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

それでは、議事に入ります。

初めに、臨時代理の報告第 1 号について、総務課、報告願います。

### 【総務課長】

報告第 1 号「職員の任免について」、ご報告いたします。

資料は配付いたしました資料の 1 ページでございます。

主幹以上の事務局職員及び教育機関の長の任免にあたっては、教育委員会会議において議決を得るものでございますが、市長事務局の内示日程等の関係で会議を招集する暇がございませんでした。船橋市教育委員会組織規則第 3 条の 2 第 1 項の規定により臨時代理を行ったものでございます。

まず、1 としまして、平成 2 3 年 1 月 1 日付けで事務取り扱いの変更をする職員でございます。

生涯学習部長の須藤元夫は、中央公民館長及び市民文化ホール館長の事務取扱となっておりますが、市民文化ホール館長のみの事務取扱へと変更になります。

次に、2 としまして、平成 2 3 年 1 月 1 日付けで昇任または配置換えする職員でございます。

中央公民館主幹（中央公民館長補佐事務取扱）の岡本芳典が中央公民館長へ、海神公民館長の江口ゆき江が中央公民館長補佐へ、市民文化ホール主査の内海和夫が海神公民館長へ変更となります。

以上でございます。

**【委員長】**

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

では、続きまして、報告事項に入ります。

報告事項（１）について、学務課、報告願います。

**【学務課長】**

市立船橋高等学校男子バスケットボール部の全国大会出場の結果についてご報告いたします。

12月23日から29日まで東京体育館で行われました平成22年度第41回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会に2年ぶり12回目の出場を果たしまして、第4位となりました。

個人では3年生で主将の平良彰大君が優秀選手賞を受賞しました。同じく3年生で、坪井中出身の貝沼雄介君が3ポイントで1位をとるなど検討いたしました。

これで今年度の大きな大会の報告は終わりとなります。今まで温かいご声援をいただきましてありがとうございました。これからも引き続き応援をお願いしたいと思います。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

1点の得点差で4位となってしまう、惜しかったですね。

では、続きまして、報告事項（２）について、指導課、報告願います。

**【指導課長】**

5ページをご覧ください。

平成22年度小・中・特別支援学校造形作品展開催について、ご報告いたします。

今年も「子どもたちの色・形・夢 2011」をテーマに、2月9日から14日にかけて船橋市

民ギャラリーを会場に開催いたします。

この作品展の経緯については、資料のとおりですが、立体作品の発表の場として図画工作、美術教育を進める上で貴重な機会となっていると考えております。

市民ギャラリーを会場に小・中合同で開催されるようになって今年で19回目を迎えます。今年度の出品予定数は約3,800点です。ここ3年、来館者数も7,000人を超え、去年は8,000人に迫るかといった状況でした。

来館された方々の感想については、資料に記載のとおりですが、この作品展に対する期待の大きさを感じております。多くの児童・生徒、また市民の皆様に造形の楽しさを伝えたいと考えております。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま報告がありました。何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

参観者アンケートのところに20代で、「こういう機会をもっと増やしてほしい。」と書いてありますけれども、増やすことは可能ですか。

**【指導課長】**

現在、この造形作品展と主に絵画を中心にしたものと年に2回やっておりますので、これ以上はいろいろと時間の都合、会場の都合等もございますので、難しいと思います。

**【委員長】**

続きまして、報告事項(3)について、保健体育課、報告願います。

**【保健体育課長】**

資料の7ページをご覧ください。

船橋市学校給食展の開催について、その詳細をご説明させていただきます。

期日は1月28日金曜日、会場は船橋市民文化ホールです。

この学校給食展は、学校給食の意義や役割、そして、保護者や地域の方々に学校給食を理解していただくことを目的とし、昭和58年より開催され、今回で28回目を迎えます。

当日は講演、実践発表、展示等が行われます。講演の講師は、食育コーディネーターの大村直己さんです。大村さんは、現在、東京都東久留米市在住で、食育コーディネーターとして、教育及び

いろいろな食生活関連の業界誌等への執筆活動や今求められる子どもの食や食育等のテーマで講演活動を行っている方でございます。

参加者は、学校の管理職、教諭、栄養職員、保護者、一般市民等600名ほどを予定してございます。

昨年度、篠田委員より、次回には調理の実演等を工夫してみたらいかがかというお話がありました。消防法の関係で実際の調理を見せることはできないのですが、ご意見を生かしまして、レシピの紹介とともに、実際につくっているところの映像をそれぞれ流して紹介したいと思っております。ぜひ委員の皆様にもご出席いただければと思います。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

#### 【各委員】

なし。

#### 【委員長】

続きまして、報告事項(4)から報告事項(6)について、社会教育課、報告願います。

#### 【社会教育課長】

それでは、社会教育課から3点ご報告させていただきます。

初めに、報告事項(4)平成23年船橋市成人式の実施状況についてご報告させていただきます。

委員の皆様にはお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。

それでは、お手元の資料9ページをご覧くださいと思います。

1月10日の成人の日に市民文化ホールにおいて、例年のとおり午前と午後の2回に分けて式典等を行いました。当日は周到な準備のかいもあり、大きな事故等もなく成功裏のうちに終了いたしました。

参加者は、午前の部が1,686名、午後の部が1,631名、合計3,317名で、合計の参加率は63.71%で、昨年と比べて0.25%の減でございました。

式典の第2部では、二十歳のアピールで吹奏楽やBMX自転車でのパフォーマンス、ブレイクダンス、ピアノとバイオリンの二重奏、ロック、ソロの披露など、多彩な発表があり、フィナーレでは船橋成人手締めで会場と舞台が一体となって新成人の門出を祝いました。

また、中央公民館では、よりみち広場が開催されました。似顔絵コーナーや写真撮影コーナー、中学校の恩師からのメッセージコーナーなど大変好評で、延べ1,685名の新成人が来場されました。

今回も成人式のOB、OGのメンバーが21名会場の整理や受付、よりみち広場などの裏方とし

てボランティアでお手伝いくださり、またライオンズクラブの皆様が会場の外で成人おめでとうという声かけをしてお祝いをしてくださいました。

成人式につきましては、以上でございます。

続きまして、報告事項（５）第２５回ふなばし生涯学習フェアについてご報告いたします。

資料は１１ページになります。

生涯学習フェアにつきましては、市民一人ひとりが生涯にわたって楽しく学ぶことで生き生きと充実した人生を送ってもらおうと毎年２月に開催しております。

本フェアは、市民大学校を中心に同校の学びのコーディネーター学科の受講生及び同学科の修了生で組織しております生涯学習コーディネーター連絡協議会が協働して企画、運営するものです。今年度は２月６日から２月２８日までの土曜日、日曜日を中心に８事業を開催することといたしました。

内容の一部でございますが、２月１２日土曜日、海神公民館を会場として、みんなの夢をのせた宇宙開発と題し、元宇宙開発事業団筑波宇宙センター所長の菊山紀彦氏を招いた講演会がございます。

また、２月２０日日曜日には、二和公民館を会場として、小学校高学年から中学生の親子を対象に女性太鼓アスリート（ＵＳÄＧＩ）の皆様による太鼓演奏と子どもたちには太鼓演奏を実体験していただきます。

その他、県民の森を利用した親子野外活動やバス研修など多彩なプログラムがございます。

なお、現在までの応募状況でございますが、２月６日、日曜日の講演会チャレンジ禁煙と２月１９日、土曜日のシニアのライフデザインが若干低迷しておりますが、それ以外の事業では順調に申し込みがございます。

生涯学習フェアの説明は以上でございます。

最後に報告事項（６）第二次生涯学習基本構想・推進計画の策定について、ご報告いたします。

資料は１３ページから２２ページとなります。順次ご説明いたします。

初めに、策定の背景でございますが、船橋市生涯学習基本構想・推進計画（ふなばし一番星プラン）は、市民一人ひとりが生涯にわたって「いつでも、どこでも、だれでも、楽しく」学ぶ中で、自己の充実や生きがいを見つけ、さらには学習活動を通じた成果を地域社会に生かしてまちづくりや人づくりを推進し、「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」の実現に向けた生涯学習推進体制の整備、充実を図るために平成１１年７月に市長を本部長とする推進本部を立ち上げ、平成１２年度に現在の計画を策定したものです。現行の計画期間は平成２３年度で終了いたしますが、平成１８年の教育基本法の改正で生涯学習の理念が初めて法の中で規定されたことや、ますます進展する少子高齢化、情報化、あるいは地域や家族のつながりの希薄化などさまざまな社会の変化に対応し、さらなる生涯学習によるまちづくりを推進する必要があるため、第二次の計画を策定するものです。

次に、計画の位置づけでございますが、現在策定中の船橋の総合計画の整合性を持たすとともに、昨年４月に施行いたしました船橋の教育や本市の他の計画とも整合性を図ってまいります。

計画の期間につきましては、次期総合計画との整合性をとり、平成２４年度から平成３２年度ま

での9年間といたします。

次に、計画策定の基本的な考え方でございますが、14ページと15ページの表とあわせてご覧ください。

現在の基本構想に掲げております生涯学習の目指すもの「輝け！『船橋のみんながもってる一番星』」は、本市の生涯学習社会を実現するための基本方針となるもので、生涯学習を通して市民一人ひとりが一番星となって輝き、「生き生きとしたふれあいの都市ふなばし」を目指すことから設定したものです。今ではその愛称である「ふなばし一番星プラン」として親しまれております。その理念を次期計画でも引き継ぐことから、引き続きこれを目標に掲げます。

また、生涯学習社会の実現に向けての課題を明らかにした3つの重点目標及び目標を具体化し推進するための7つの方策につきましても、概ねこれを継承し、次期計画については、その方策を具現化するための施策や事業の見直しをしていきたいと考えております。

次に、策定体制でございますが、資料は16ページから21ページまでとなります。

初めに、船橋市生涯学習推進本部設置要綱に基づき、市長を本部長、両副市長並びに教育長を副本部長とする18ページ、別表1の生涯学習推進本部がございます。推進本部では、生涯学習にかかわる基本方針や施策の総合的な調整、施策の推進を行います。

次に、教育次長を幹事長とし、関係各課長で構成する別表2の幹事会がございます。幹事会では、推進本部の事務を補助し、専門部会から出された計画案を検討し、推進本部会議に付する事案の調整を行っていただきます。

次に、幹事会には必要に応じて専門部会を置くことができるとしてありまして、幹事会所属の係長クラスをもって専門部会を設置しております。計画案については、専門部会で協議し、策定していきます。

また、本計画策定に関し市民のご意見を幅広く伺う場として、19ページの船橋市生涯学習推進協議会設置要綱に基づく協議会を設置いたします。

なお、全体の組織図を21ページに掲載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。

次に、策定のスケジュールでございますが、22ページの表をご覧くださいと思います。

既に第1回の推進本部会議、幹事会を開催いたしました。また、専門部会につきましては、昨日と明日の3回に分けて開催いたします。

6月中旬に骨子案を、10月中旬には素案を作成し、12月に部会への報告とパブリックコメントを実施して、平成24年2月の推進本部会議に素案の最終報告をし、3月に計画を確定し、平成24年4月に施行する予定でございます。

なお、教育委員会においては、素案の中間報告及び最終報告をそれぞれ平成23年8月と平成24年2月に行う予定であります。

以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【中原委員】

成人式は今年も天気がよくて、多彩な若者たちの力が披露された会になっていたと思います。

一つ気になっていたんですが、在籍中学校をベースに若い人たちが集まるというような感じになっていると思うんですけども、船橋市には地元の公立中学へ行かない人たちも結構いますよね。その方たちの参加というのは割合的にはどのくらいですか。

【社会教育課長】

その方たちの参加人数の割合というのは把握しておりませんが、基本的には11月1日現在の住民基本台帳に載っている方々にご案内をしております。それ以外に外国人登録の方も当然対象者でありますし、また市外に現在お住まいでも船橋市内の中学校出身だということで問い合わせいただいた方については、すべてご案内をしております。

また、今回パフォーマンスをされた方たちについても、特に公立とか私立とかいう隔たりはなく、そのグループの中に二十歳の方が1人いれば参加できるということでご案内しております。

【中原委員】

できるだけ、どの方も気持ちよく参加してもらえるような形がいいと思っております。自己紹介するときに中学校名を言われる方とそうでない方とがいらしたので、恐らくそうでない方が公立中学校の出身者ではない方なのかなと思いついて見ているんですけども、いかがでしょうか。

【社会教育課長】

インタビューの中で中学校名を言ってない方は成人の方ではなく仲間の応援の方で、中には船橋市外の方もいらっしゃいます。その方たちは名前だけおっしゃっています。実際に二十歳の方については、私立の方でも学校名を言っております。ただ、インタビュアーが舞い上がって中学校名を聞くのを忘れた場面がございまして、一部、中学校名を言えなかったということがありました。

【中原委員】

少し流れの中でその辺が気になっていたのですが、わかりました。ありがとうございます。

【山本委員】

船橋市の成人式は、浦安市のディズニーランドでの成人式のようにやっていることが突飛だからということでニュースなどにもなりません、暴れてどうこうということもなく、地味だけれどもいい成人式だと思っております。

毎年、この参加率を見ると大体3分の2弱くらいですけども、他市と比べるとどうなんでしょうか。

【社会教育課長】

他市ともほぼ同程度でございます。浦安市は突出して参加率がいいようでございますが、県内全体で比較しますと船橋市はいいほうであります。

【山本委員】

こういうふうにしたらいいのではないかというような声は聞いているのですか。参加した方々にアンケートをとるといった、何か意見を聞く窓口はあるのですか。

【社会教育課長】

今度29日の土曜日に、出演された方、司会をやられた方、インタビューをやられた方、友の会、要するにOBの方にお声かけをして反省会を実施します。その中でいろいろご意見をいただいて、次回の参考にするという形でやらせていただいています。

【山本委員】

恐らく3人に1人は無関心というのは全国的なことで、当たり前かもしれないけれども、もし参加率をもう少し上げたいと思うのだとすれば、運営などに携わった方々だけでなく、一般の参加者たちがどういう感想を持っているのかをひとつ参考にしたほうがいいかもしれないですね。

【社会教育課長】

一般の参加者の方にはなかなか声を聞く時間がございませんでした。しかし、今日、たまたまCATVで放送されていたものをいただいて見てみたところ、非常に好意的な意見がございました。

参加されない方がどうして参加されないのかという調査はなかなかできないものでございますので、できるだけそういった声、同じ世代の方たちの考え方というのを聞きながら参考にしていきたいと思っています。

【山本委員】

ありがとうございました。

【委員長】

本当に今年も華やかで良い成人式だったと思います。ありがとうございました。

進行役の方たちにたまたまエレベーターで乗り合わせましたが、そんなに練習をしているわけではなかったので、その分、友の会の方々がいろいろ細かなことまで支えてくださったのかなと思います。すごくいいシステムといいますか、やり方だと思いました。

よりみち広場の恩師のメッセージのことですけれども、今年は去年に比べますと、メッセージコーナーの参加者数は少し減っているというのがありまして、せっかく先生方が中学時代の写真を張ったり、すごくカラフルなカエルやウサギをつけたり、とても工夫して送ってくださったので、もっとそれを見られる機会があればよいと思っています。

メッセージコーナーは6階に上がらないと見られないんですか。1階とかには置いたりはない

のですか。

【社会教育課長】

1階の市民文化ホールのロビーには、このメッセージコーナーがやっていますよということと、こういった先生方からメッセージが来ています、6階へどうぞ見に来てくださいというようなものだけは張らせていただいています。

【委員長】

成人式の日だけ、そのメッセージは6階に置いてあるのですか。

【社会教育課長】

その日だけでございます。

【委員長】

そうですか。少しもったいない気がしますので、もう少し見に来ていただけるように工夫ができればいいと思います。

また、記念品にお箸をいただきましたけれども、あれは船橋市内で作られた記念品というわけにはいかないんですか。

【社会教育課長】

事前に司会をやる子やOBの子、ボランティアで参加している実行委員会の中で、今年の成人式の記念品を何にするか、そのスタッフ、実行委員の意見をいただいて決めております。とんでもないものになると修正させていただくのですが、今回は実行委員のほうからエコマイ箸というんですか、そういったものにしてほしいということだったので、そのようにさせていただきました。

【委員長】

アイデアはよかったと思ったんですけども、福井県のものだったので、それは何か船橋市内のお箸屋のものであったらよかったと思いました。

【篠田委員】

友の会のOBの方たち、今年の成人の方たち、来年の成人の方たちと、これを一つ一つ架け橋みたいにつなげていくことは、大事にしておいてもらいたいと思います。本当にいいシステムだと思います。

友の会のスタッフは何人ぐらいいらっしゃるんですか。

【社会教育課長】

今回は21名でございます。毎年やはりその日によって少し違うのですが、多いときには30名

近くになります。一番古い方たちというのは、初代、平成16年の成人式の子たちです。そうすると今28歳ぐらいになっていますので、逆に我々のほうから、もう大変だったら若い世代はこちらが育てるから無理しないようにという話をしてありますが、毎回出てきてくれています。

**【篠田委員】**

ありがたいですね。それをぜひ途切れないようにしていただければと思います。

**【委員長】**

よろしいでしょうか。

続きまして、報告事項(7)及び報告事項(8)について、文化課、お願いします。

**【文化課長】**

資料23ページになります。

第15回船橋市音楽フェスティバルについて、12月の定例会で千人の音楽祭のお知らせはいたしました。今回2月を中心に開催する音楽フェスティバル全体のパンフレットができ上がりました。見開きになっております。開いていただくと、上段右側のほうになりますけれども、ふらっと横町ライブ、これは文化ホールときらら、勤労市民センターの3館の合同事業として行います。ここに文化課も企画に加わりまして、今回初の試みです。

勤労市民センターは、地下に358席あるホールを持っております。所管が経済部になっていることから、これまであまり教育委員会とのかかわりはございませんでしたけれども、同じ文化施設としてこれから協力しながら事業に取り組むことにいたしました。

また、地域ふれあいコンサート、今回は市内15カ所で開催いたします。年々開催場所がふえてきましたので、昨年までのA4、1枚のチラシではもう掲載しきれなくなりましたので、今回はこのように倍の大きさにいたしました。この印刷費は、一番裏側に3社ほどご協力いただいているんですけれども、実行委員会で広告を集めまして、その広告費用で印刷費は賄うことができました。

続いて、資料27ページの船橋市文学賞の結果報告についてですが、これについてはここに掲載のとおりで、部門ごとの文学賞と佳作作品が載っております。入賞作品はいずれもすばらしい作品ということで、選者の先生方からも高く評価されております。また、入賞以外の作品もなかなかすばらしい作品があるということで、評価をいただいております。

入賞作品につきましては、現在1冊の作品集にまとめる作業を進めております。でき上がりましたら各図書館、公民館に配本いたしまして、貸し出すこととなります。また、希望する方には1冊1,000円で販売いたします。

なお、この文学賞の授賞式を3月20日に行う予定となっています。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【中原委員】

前回、ご報告をいただいていたので感じたんですけども、音楽フェスティバルの実行委員会の方たちが積極的にいろいろ工夫しながらやってくださっていて、ありがたいですね。みんなで作っていくというところがとても大事だなと思います。

【篠田委員】

先ほど、ふらっと横町ライブの説明で勤労市民センターが経済部の管轄ということがわかりましたけれども、役所の中でも管轄が違う同様の施設は、教育委員会関係の施設と経済部の勤労市民センターのほかにはあるのですか。

【文化課長】

市民部の三山市民センターがございます。

【篠田委員】

ほかの部署との横のつながりもできると思いますから、ほかの部の管轄でもそういうところがあればぜひ利用していただければと思います。

勤労市民センター付近は私の地元ですけれども、あそこは一般の市民の人やボランティアの人、年配の非常に元気な人などが集まっています。ぜひこういう形で使っていただければ、あの辺りの活性化にもつながりますし、イメージ的にもよくなると思います。

【文化課長】

三山市民センターにつきましては、今回ふれあいコンサートの中で三田公民館を中心に組織している実行委員会が開催会場として使用しております。

【委員長】

ありがとうございました。

【山本委員】

一ついいですか。コマーシャルが入ると、この報告事項(7)のパンフレットのように立派になるんですね。こういうのは市としては他にもやっているのですか。これからこういうのは積極的に利用したほうがいいように思います。やはり立派なパンフレットだと行きたいというような気にもなるかもしれません。その辺りについてはいかがでしょうか。

【文化課長】

船橋市の市民便利帳ですとか、数年前からいろいろ広告は積極的に取り入れる方向でございます。

実はこの一番上にある、おさか歯科クリニックというところも、この市民便利帳に出しているところへご案内をした中で、今回ご協賛くださったものです。市としてほかには、エレベーター付近のモニターに広告を流したり、ホームページでもバナー広告をだしております。

【山本委員】

あまり教育委員会関係ではコマーシャルは出てきていないので、今後取り入れてもいいのかなと思います。

【文化課長】

実行委員会が主になっているので今回は取り入れております。

【委員長】

この文学賞の佳作で詩の「駆け抜ける風」を書かれた岡庭君という男の子は14歳ですけれども、船橋市内のどこかの中学校の方ですか。

【文化課長】

市内の私立の中学生です。

【委員長】

ペンネームも持ってらっしゃるんですね。

ありがとうございます。

ほかにはよろしいでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項(9)及び報告事項(10)について、生涯スポーツ課、報告願います。

【生涯スポーツ課長】

報告事項(9) 資料は別冊でございます。

第55回成人の日記念船橋市民駅伝競争大会につきましては、1月15日土曜日に81チームが出場し、運動公園をスタート、アリーナをゴールとする6区間19.8キロで行われました。当日気温は低かったものの、雨、風に影響されることもなく、すべてのチームが事故もなくゴールいたしました。公道を走る大会といたしまして、260人余りの沿道警備等関係者の方にご協力をいただいております。

ご覧になっていただいております資料、この記録につきましては、チームの成績を17日ホーム

ページに掲載し、また個人の成績につきましては、各チームにお礼状とともに18日に送付をいたしております。

ちなみに、行田中学校は今回初優勝でございます。

篠田委員には大変寒い中、開会式にお越しをいただきましてありがとうございました。

次年度の予定は、来年1月15日日曜日を予定しております。

次に、本冊の29ページをお願いいたします。

報告事項(10) 第29回船橋市小学生・女子駅伝競走大会につきましては、来月12日土曜日に運動公園周回コースで149チームが出場し、小学校男子の部、小学校女子と一般の部、中学校と高等学校の部の3レースを行います。応援のほうよろしくをお願いいたします。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【各委員】**

なし。

**【委員長】**

続きまして、報告事項(11)について、郷土資料館、報告願います。

**【郷土資料館長】**

資料37ページをお開きください。ご説明いたします。

地域史講座は、年1回船橋近隣地域の歴史を学び地域の理解を深める機会を市民に提供する趣旨で行われております。今回は、「印旛沼治水事業と開発計画 - 近代を中心に - 」を取り上げます。

講師に造詣の深い元千葉県史料研究財団の高林直樹先生をお招きいたしまして開催いたします。

日時は3月5日土曜日午後2時から4時まで、会場は郷土資料館講堂でございます。申し込み方法及び募集人数につきましては、電話による事前申し込みにより、先着60名とします。また、参加費は無料となっております。

なお、2月1日号の広報紙に掲載して受付を開始する予定でございます。もしお時間がございましたらご来館いただければと思います。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

続きまして、報告事項（１２）について、飛ノ台史跡公園博物館、報告願います。

【飛ノ台史跡公園博物館長】

それでは報告（１２）ふなばしのお宝展についてご報告いたします。

３９ページをご覧ください。

当館は、平成１２年１１月に縄文専門博物館としてオープンし、本年度開館１０周年を迎えましたことから、これを記念いたしまして開催するものでございます。

会期は、１月１５日から３月１３日まででございます。

通常本館は、縄文時代の資料を中心に公開しておりますけれども、今回の企画展では、およそ３万年前から現代までの船橋の歴史を語る上で欠かせない考古資料や写真などを展示いたします。

また、現在埋蔵文化財調査事務所で調査を進めております取掛西貝塚から出土した貴重な資料等も展示いたします。

約３万年前から現代までの船橋の歴史を感じていただける展示だと思っておりますので、ぜひご高覧くださいようお願いいたします。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

それでは、報告事項（１３）その他で何か報告したい事項などがある方がいらっしゃいましたらここで報告願います。

【学務課長】

通学区域の選択地域の設定についてという資料がございますが、それについてご報告いたします。

本件は、海神中学校の学区の一部を選択地域とすることについての報告でございます。

本市では、居住する住区に基づいて児童生徒の通学する学校を指定しておりますが、その地域の特性などによりまして、学区制度の弾力的な運用を行い、複数の学校から通学区を選択できる区域を選定しております。

今回の具体的な内容といたしましては、その資料1ページの地図をご覧ください。下のほうに緑色で囲まれております地域がございます。海神町南1丁目715番地から732番地になっておりますが、ここの基本学区は海神中学校でございます。ただ、平成3年7月に葛飾中学校を選択できる地域に設定しました。これは地域住民からの申し立てにより選択地域としたものであります。その少し上に赤で囲まれた海神町南1丁目714番地に当時ホテルが建っており、人が住んでおりませんでしたので、選択地域には含んでおりませんでした。その後、ここの場所は10年前にマンションが建設されました。本来であればその時点で選択学区の設定について教育委員会内で検討すべきであったのですが、今回この当該マンションに居住する保護者から葛飾中学校を選択できる地区としてほしいとの嘆願が出たことから、検討した結果、この海神町南1丁目714番地を選択地域として設定するものでございます。

この選択地域の設定につきましては、平成23年1月31日の施行を予定しております。  
以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。  
ただいま報告がありましたが、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

**【山本委員】**

この辺は小学校でいうとどこの学区になりますか。

**【学務課長】**

海神南小学校になります。

**【山本委員】**

確かにここから海神中学校まで歩いて30分ぐらいかかりますね。もっとかかるかもしれないですね。

**【委員長】**

すみません。質問ですけれども、選択を設定する地域というのは、葛飾中学校でもいいし、海神中学校でもいいということですか。

**【学務課長】**

一応、指定校は海神中学校ですけれども、葛飾中学校も選択できますということです。

**【委員長】**

そのほかございますでしょうか。

【各委員】

なし。

【委員長】

少し戻ってしまいますけれども、先ほどの生涯学習フェアで、会場が公民館で講演時間は午後2時から4時が多いんですけども、公民館の一般利用は12時から3時、3時から6時というタイミングですね。こういう時間帯に設定するのは、準備と講演が終わって片づけがあるからということですか。

【社会教育課長】

今お話しあったように、その準備や片づけ、講師の都合などいろいろ含めて設定しているところでは。

【委員長】

何かそのほかございますでしょうか。

【中原委員】

37ページで紹介いただいたものと39ページ右下にある講演会はどちらも電話で申し込みをするという形になっているのですが、例えば、37ページの企画は2月1日から受付で前日までの受付となるんですか。当日も受け付けているのですか。

【郷土資料館長】

電話で定員になり次第締め切らせていただいています。一応キャンセルの方を少し見込んでいるので、当日の状況を見て受け付けを対応しています。

【中原委員】

締め切りは定員になり次第ということですよ。でも、まだ締め切られているかどうかお電話される方はわからないですよ。

【郷土資料館長】

丁寧に満杯状態ということでお断りいたしまして、また次回にということの説明いたしております。

【中原委員】

わかりました。

結構満杯になってしまうのですか。

**【郷土資料館長】**

講座によってそれぞれ満杯になるものと余裕があるものがございます。

**【飛ノ台史跡公園博物館長】**

講演会につきましては、12月の定例会でご報告いたしました考古学講座の4回あるうちの4回目ということで、1月4日から電話の受付を受けておまして、現在140名ぐらいの申し込みがございます。一応、キャパシティは170名ということで考えておりますので、まだ余裕がございます。万が一の場合には、郷土資料館と同様に丁寧に説明を申し上げたいと考えております。

**【委員長】**

よろしくお願ひします。

こういった基調の講演会ですと、当日行きたいと思っても断られてしまうと残念な思いをさせていただきますので、DVDなどに撮って後から見られるようにはしていないのですか。

**【郷土資料館長・飛ノ台史跡公園博物館長】**

そういうことはいたしておりません。

**【委員長】**

よろしいでしょうか。

**【山本委員】**

新聞で不明小・中学生が問題になっているんですけれども、船橋市にもいるのでしょうか。不明小・中学生というのは、住民票を残したまま行方不明になり、就学しているかどうか確認できない小・中学生のことです。1年以上学校へ来ておらず、居所不明な児童生徒が千葉市で何人かいらっしゃいました。

**【学校教育部長】**

行方不明になってから1年経つと除籍になるわけでございます。そういう状態にいる子どもが何人かはいると認識しております。詳しい数につきましては、現在集計できておりません。

**【教育長】**

山本委員から千葉市の例が出ましたが、千葉市がどう調べたかはわからないんですけれども、今学校教育部長が言ったように転居して居所が不明になっても、A校ならA校へ1年間は籍を置いております。しばらく学校へ来ない場合には家庭訪問もしますが、いろいろな形でどこへ行ったかわからない場合がございます。それが1年以上続くと、学校から籍を外して除籍となってしまいます。

一方、通常の転出はどうなのかというと、転出先の学校から確かに転入しましたので、必要書類をお送りしてくださいといった連絡が来るのではっきり把握できます。

そして、さらに問題を複雑にしているのは、虐待ですとか、夫婦の問題などです。以前は転居したら必ず追いかけて書類のやり取りが必要だったのですが、現在は、例えば逃げてきて船橋市へ住み着いた場合、住民異動の手続をしなくても受けいれられるようになってしまいました。丁寧なやり取りをするんですけども、書類の移動の中で追いかけて、そこで見つかってしまうと困るから内緒にしておいてくださいということもございます。このような場合、例えば、千葉市の学校へ通う児童生徒がある日突然いなくなってしまって船橋市へ来て、船橋市ではどこから来た子かわかるけれども、千葉市はどこへ行ってしまったかわからないわけです。そのため、千葉市の学校では所在不明の児童生徒を1年間待つことになるわけです。1年以上所在不明ですと除籍になって、千葉市からいなくなったのはわかるのですが、その子が船橋市の学校に入っているかどうかはわからないままになってしまいます。船橋市が丁寧にこういう子が来ていますということ連絡すれば千葉市は把握できるんですけども、申し出によって一切そういうことをしないでください、追いかけていますという場合は一切しません。ですから、新聞でもいろいろ話題になっていますけれども、今のシステムだと正確に不明小・中学生の実態を把握することは難しくなっております。

やるとすれば住民基本台帳法に基づいて、そして住民票などと合わせて突合していかなければいけないと思いますけれども、今のところそういう突合をしてないのですよね。

**【学校教育部長】**

現在のところ、そのような突合はしておりません。

**【教育長】**

連絡を取り合えば居所のわかる児童生徒もいるわけですけども、学校で受け入れた旨の連絡を取り合わないでくださいという場合には、先ほど例に出して述べたように、船橋市は千葉市から来たのは知っているけれども、船橋市から千葉市に対して千葉市からこういう子が来ていますと連絡しませんから、千葉市はわからなくなってしまいます。逆に、船橋市から出て行った場合も、正常な形ならやり取りがあるんですけども、それを遮断してくださいという申し出があったときには、千葉市は船橋市へ連絡しませんから、船橋市はいなくなったのはわかるのですが、どこへ行ったかはわからないことになります。

**【山本委員】**

毎年、除籍になっている生徒は何人ぐらいいるのですか。

**【学校教育部長】**

その人数は集計しないとわかりません。実際のところ1年経つのではないかと考えていたら最後の日に見つかったという子もいますので、どこどこで見たとというような目撃情報などがありましても、家に行ってみるといなかったり、その家は引っ越してなかったりということなので、学校もいろいろなルートで探したりはするんですけども、いなくなっている子は実際には毎年何人かはいるといことです。

**【教育長】**

調べられる状況であれば調べていただきたいと思います。

**【中原委員】**

その件に関しては年末に話を聞いたときに、この現代においても戸籍をつくってもらえないまま暮らしている子どもたちが現実にはいるという話がありました。親の事情でいろいろ居所が明かせないというようなハンディを背負って子どもが教育を受けられていないとすると、これはやはりちゃんと救ってあげなければいけないと思います。大人がどこをどんなふうにチェックして、問題が埋もれていかなないようにしていくかというのがすごく大事ですけれども、今まで網目の中で落ちてしまい、割と抜けてきてしまっているかもしれないと少し感じています。

**【教育長】**

その転居先の地域ですとか、役所などで学校へ行っているか行っていないか確認できるシステムがあれば良いのですが、今のところないと思います。

**【中原委員】**

児童相談所も虐待ケースなど特別に挙がってきたものは全国追えるようになっているんですけども、グレーゾーンだともう追えなくなってしまって、現実的にはデータが消えていってしまうということになります。

**【委員長】**

このことについては、わかる範囲でお知らせいただければと思います。

それでは、本日予定しておりました審議を終了いたしました。

これで教育委員会議 1 月定例会を閉会いたします。